

様式第2(第5条、第8条関係)

特定施設使用(変更)届出書

年 月 日

大分県知事 殿

申請人

氏名又は名称及び住所並びに法人に  
あつてはその代表者の氏名

瀬戸内海環境保全特別措置法第7条第2項(第8条第4項、第9条)の規定により、特定施設  
について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称		※整理番号	
工場又は事業場の所在地		※受理年月 日	年 月 日
特定施設の種類		※施設番号	
有害物質使用特定施設の該当 の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	※審査結果	
△特定施設の構造	別紙1のとおり。	※備 考	
△特定施設の使用の方法	別紙2のとおり。		
△汚水等の処理の方法	別紙3のとおり。		
△排出水の量(排水系統別の量 を含む。)	別紙4及び別紙5のと おり。		
△排出水の汚染状態(排水系統 別の汚染状態を含む。)			
△用水及び排水の系統	別紙6のとおり。		
△特定施設の設備(有害物質使 用特定施設の場合に限る。)	別紙7のとおり。		

- 備考 1 特定施設の種類の欄には、当該特定施設が水質汚濁防止法施行令別表第1又はダイオキシン類対策特別措置法施行令別表第2のいずれに該当するか、並びに当該別表に掲げる当該特定施設の号番号及び名称を記載すること。
- 2 有害物質使用特定施設の該当の有無の欄には、該当するものにレ印を記入すること。なお、有害物質使用特定施設に該当しない場合には、別紙7を提出することを要しない。
- 3 △印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用すること。
- 4 ※印の欄には、記載しないこと。
- 5 変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
- 6 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格A4とすること。

## 申請の概要

※今回、届出及び申請をするに至った理由を記入すること。変更の場合は、変更内容を併せて記入すること。

備考 申請の目的及び特定施設、汚水等処理施設等に関する申請の概要について記入するとともに、排水量及び負荷量の増減については、概要を記入し、なるべく排水口ごとに表にまとめること。

## 特 定 事 業 場 の 概 要

資本金		従業員数		業 種	
	円		人	産業分類細分類番号	
主 要 生 産 品 目 及 び 月 生 産 量					
主 要 原 材 料 の 品 目、用 途 及 び 使用量					
特 定 施 設 の 種 類 及 び 数					
作 業  工 程					
排 水 処 理 の 方 法 及 び そ の 系 統 図					
担当者	課		TEL		(内線)

備考 申請前と申請後で上記の内容が異なるものについては、申請前及び申請後に分けて記入すること。

## 別紙1

## 特定施設の構造

工場又は事業場における施設番号		
特定施設番号及び名称		
型 式		
構 造		
主 要 寸 法		
能 力		
配 置		
設 置 年 月 日	年 月 日	年 月 日
工事着手予定年月日	年 月 日	年 月 日
工事完成予定年月日	年 月 日	年 月 日
使用開始予定年月日	年 月 日	年 月 日
その他参考となるべき事項		

備考 配置の欄には、当該特定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置を記載すること。

別紙2

特定施設の使用の方法

工場又は事業場における施設番号					
特定施設番号及び名称					
設置場所					
操業の系統					
使用時間間隔					
1日当たりの使用時間					
使用の季節的変動					
原材料(消耗資材を含む。)の種類、使用方法及び1日当たりの使用量					
汚水等の汚染状態	種類・項目	通常	最大	通常	最大
汚水等の量 (m <sup>3</sup> /日)		通常	最大	通常	最大
その他参考とすべき事項					

備考 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

別紙3

汚水等の処理の方法

工場又は事業場における施設番号									
処理施設の設置場所									
設置年月日		年 月 日		年 月 日					
工事着手予定年月日		年 月 日		年 月 日					
工事完成予定年月日		年 月 日		年 月 日					
使用開始予定年月日		年 月 日		年 月 日					
種類及び型式									
構造									
主要寸法									
能力									
処理の方式									
処理の系統									
集水及び導水の方法									
使用時間間隔									
1日当たりの使用時間									
使用の季節変動									
消耗資材の1日当たりの用途別使用量									
汚水等の汚染状態及び量	種類・項目	通常		最大		通常		最大	
		処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後
	量(m <sup>3</sup> /日)								
残さの種類、1月間の種類別生成量及び処理方法									
排出水の排出方法									
その他参考となるべき事項									

- 備考 1 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排出水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。  
 2 排出水の排出方法の欄には、排水口の位置及び数並びに排出先を含め記載すること。

別紙4

排出水の汚染状態及び量

工場又は事業場における施設番号					
排出水の汚染状態	種類・項目	通常	最大	通常	最大
排出水の量 (m <sup>3</sup> /日)		通常	最大	通常	最大
その他参考となるべき事項					

備考 排出水の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排出水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

排水水の排水系統別の汚染状態及び量

										指定項目の別				
特定排水水	業種 その他の 区分	汚染状態 (mg/l)		水 量 (m <sup>3</sup> /日)					汚濁負荷量 (kg/日)		※			
		通常	最大	通常	最大	Qco	Qci	Qcj	通常	最大				
	合計													
特定排水水以外の排水水	種類及び用途	汚染状態 (mg/l)		水 量 (m <sup>3</sup> /日)		汚濁負荷量 (kg/日)		/						
		通常	最大	通常	最大	通常	最大							
	合計													
その他の参考事項														

- 備考
- 1 本紙の記載にあたっては、指定項目ごとに作成すること。
  - 2 指定項目の別の項、汚染状態の項及び汚濁負荷量の項には、指定項目について記載すること。
  - 3 窒素含有量について記載する場合には、「Qco」を「Qno」と、「Qci」を「Qni」と読み替え、Qcjの項には記載しないこと。
  - 4 リン含有量について記載する場合には、「Qco」を「Qpo」と、「Qci」を「Qpi」と読み替え、Qcjの項には記載しないこと。
  - 5 ※印の欄には記載しないこと。



用水及び排水の系統

<p>用水及び排水の 系 統</p>			
<p>用 途 別 用 水 使 用 量</p>	<p>用 途</p>	<p>使 用 水</p>	<p>用水使用量(m<sup>3</sup>/日)</p>

## 別紙7

## 特定施設の設備

工場又は事業場における施設番号		
特定施設番号 及び名称		
設備		
構造		
主要寸法		
配置		
設置年月日	年 月 日	年 月 日
工事着手予定年月日	年 月 日	年 月 日
工事完成予定年月日	年 月 日	年 月 日
使用開始予定年月日	年 月 日	年 月 日
その他参考となるべき事項		

- 備考 1 有害物質使用特定施設に該当しない場合には、本様式を提出することを要しない。
- 2 配置の欄には、当該特定施設の設備の配置を記載すること。

## 添付図面一覧

いくつかの図面を一葉にまとめてもよい。

特定施設	①主要機械装置の構造及び配置図	別紙（ ）のとおり
	②配置場所図及び操業系統図	別紙（ ）のとおり
污水处理施設	③主要機械装置の構造図及び配置図並びに設計計算書	別紙（ ）のとおり
	④配置場所図及び処理の系統図	別紙（ ）のとおり
その他	⑤用水、汚水等の経路図	別紙（ ）のとおり
	⑥排水口の位置図	別紙（ ）のとおり
	⑦事業所周辺の見取図	別紙（ ）のとおり

(注) ⑤用水の経路は青色、汚水の経路は赤色で表し、水量を記入すること。